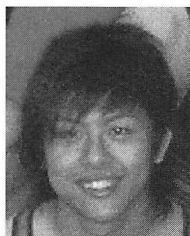


気合いの五厘刈り



2006年 大野 裕亮

我が関西大学のスポーツ推薦制度が復活し、久方ぶりの推薦入学で関西大学レスリング部の門を叩いてから早や5年の月日がたった。入学当時は部員数も少なくレスリング未経験者ばかりで、技練習の時など専ら1年生の私と同期の漆原が行う始末であった。しかし、先輩方はとても温かく、まさに家族のような存在であった。そんな尊敬する先輩方が引退され、とうとう私達が最上級生となった。当時、同期の新元と期待と不安を語り合ったことを今でも鮮明に覚えている。

当時は、部員が15名+マネージャー2名で4月からは4名の新入部員が入ってくるということで例年のない大所帯になっていた。レスラーというのは基本的に個性が強いというかわがママな性質もっている。そんな連中をまとめるためという名目で我が06年度関西大学レスリング部は和歌山春期合宿から始動した。

この合宿の意図は、レスリングシューズを置き、徹底的に体力強化をするというものであった。しかしながら、結局この合宿は散々な結果となり「伝説の合宿」という輝かしい汚名?を頂戴することになってしまった。さて合宿内容といえは、たしか3泊4日の日程でランニングが2、3回、体育館での練習(タッチフット)が1回。そのほかの時間はといえば水族館で深海魚を見学したり、部員が1列でパチンコに勤しんだり、温泉を巡ったり、毎夜の晩酌など大変盛り上がった。特に最終日の夜の大会は悲惨の一言につきた。時間が経つにつれ一人ま

た一人とこの世から遠のき、片隅には汚物にまみれ倒れる者、押入れでは〇〇らが延々と語り出し、床には缶・ビンがところ狭しと転がり、と安田監督の知人の民宿が見事に関大色に染まり、その節は大変なご迷惑を御掛けした。(「ホンマ勘弁してくれよ」安田)

そんなこんなな合宿ではあったが、普段はよく練習した。いつもは馬鹿騒ぎなレスラーも勝負事には真剣、そしてシビアになる。部員数が多いということもあり、同階級にライバルがひしめいていた。リーグ戦前などはお互い多少の意識はあったが、そこは関大レス部の仲間ということもあり普段は皆仲がいい。やはりこの仲間意識や絆といったものは、代々先輩から培われてきた関大レス部のすばらしき伝統のひとつだと思う。不本意な結果に終わった春季リーグ戦で得た個々の反省点を改善し、秋季リーグ戦では悲願の1部昇格するため我々は頑張った。夏の合宿でダボスを駆け回り、普段からリーグ戦における意識を高め、肉体的にも精神的にも鍛錬していた。そんな中秋季リーグ戦前の彼らの意気込みが猛烈に記憶に残っているのだから、こぼれ話として紹介したい。

11月某日の晴れた日、いつもと変わらぬ厳しい練習後、何を思ったか4年生主務新元が切り出した。「オレは頭を剃る」と。彼は某大学の監督から「鳥の巣」みたいと言われて、リーグ戦に向けて意気込みをみせたようだ。東体育館前に木製ベンチ・バリカン・ハウキ・ラジカセを用意させ、ラジ

カセからは関西大学学生歌・応援歌・逍遙歌が流れる中、自慢の髪と一時の別れを果たした。その勇姿につられ、3年生濱崎・米山も後に続き、この日は終わった。翌日、緑地公園へのランニング後、次々と後輩たちが5厘刈に誘なわれた。総勢10名弱の坊主集団が出席した学校行事の表彰式が異様な空気になったのも覚えている。

そんな意気込みも虚しく秋季リーグ戦では念願の1部昇格ができず、期待して下さった先輩諸兄に対して大変申し訳なく思い、また最高のチームとの別れに涙を流しあったことは昨日のこのように思う。私には、数多くの反省はあるが、後悔は一つもない。それは素晴らしい仲間と過ごした時間が今でも胸に残っているからである。例え何十年経とうが消えることはないだろう。それはOBの方々を見ていればよく分かる。だから関西大学レスリング部は素晴らしい。将来レス部の仲間たちと思いを肴とし酒を交わすことを楽しみとしながら現役学生を応援していきたいと思う。

「関西大学レスリング部 万歳」

「2006年の陣容」

顧問 伴 義孝
 総監督 横山博行
 監督 安田忠典
 コーチ 相田哲夫・小寺齊人・谷山亮介
 比与森正志・山本茂廣
 主将 大野裕亮
 副将 -
 主務 新元健司
 副務 中西 悠・平石智裕
 学連 漆原功二
 4年生 漆原功二・大野裕亮・奥野大輔
 新元健司
 3年生 井上孝平・小原潤一郎・濱崎祐輔
 吉川賢一・米山将之・森山彰行
 2年生 中西正樹・中西 悠・林 健太
 平石智裕・府本 健・前原 愛
 1年生 川岡 司・呉 志銘・堀川浩義
 和田太一



時に暴走するレスラーたちであった。

「2006年の試合結果」

JOC杯全日本ジュニアレスリング選手権大会

アジア・ジュニア選手権大会

世界ジュニア選手権大会

女子51キロ級 優勝 前原 愛

大阪府選手権大会

55キロ級 優勝 濱崎祐輔

60キロ級 第2位 堀川浩義

66キロ級 第3位 和田太一

84キロ級 優勝 森山彰行

84キロ級 第3位 遠藤拓磨 (OB)

96キロ級 優勝 中西正樹

西日本春季リーグ戦

2部3位 (4勝2敗)

カナダ遠征(西日本学生レスリング連盟代表)

84キロ級 中西正樹

西日本学生新人選手権大会

F55キロ級 第5位 堀川浩義

全日本学生選手権大会

女子51キロ級 第3位 前原 愛

西日本学生選手権大会

G84キロ級 ベスト8 中西正樹

女子51キロ級 優勝 前原 愛

アルキメデス・レスリング選手権大会

66キロ級 第2位 小原潤一郎

84キロ級 優勝 米山将之

全日本女子オープンレスリング選手権大会

51キロ級 準優勝 前原 愛

西日本秋季リーグ戦

2部3位 (4勝2敗)